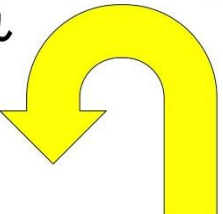
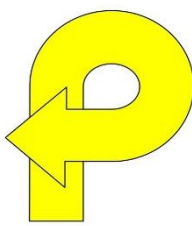





	<p><b>スタート</b></p> <p>審査員の指示でスタートする。  スタートする前は座らなくてもよく、基本姿勢は必要ない。  スタートの線を越してタイムを計りだす。</p>
	<p><b>ゴール</b></p> <p>ゴールを越してタイムが止まった後は犬をほめる。</p>
<p><small>z-0a</small></p>  <p>犬 右回り</p>	<p><b>Z-0 a</b></p> <p>指導手の右から後ろに回り脚側停座。</p>
<p><small>z-0b</small></p>  <p>犬 左回り</p>	<p><b>Z-0 b</b></p> <p>指導手の左から回り脚側停座。</p>
<p><small>z-0c</small></p>  <p>犬 右回り 前へ</p>	<p><b>Z-0 c</b></p> <p>指導手の右から後ろに回り、そのまま前へ進む。</p>
<p><small>z-0d</small></p>  <p>犬 左回り 前へ</p>	<p><b>Z-0 d</b></p> <p>指導手の左から回り、そのまま前へ進む。</p>
<p><small>B-001</small></p> 	<p><b>B-0 0 1</b></p> <p>脚側行進でプレートの左に脚側停座。  指示無し停座、指示しての停座、どちらでもよい。</p>

<p style="text-align: right;">B-002</p> 	<p><b>B-002</b></p> <p>脚側行進でプレートの左に脚側停座。 その後、伏臥の命令。 伏臥後、犬を座らせずに伏臥から歩きだす。</p>
<p style="text-align: right;">B-003</p> 	<p><b>B-003</b></p> <p>脚側行進でプレートの左に脚側停座、その後伏臥させる。指導手は伏せている犬の横に立ち、座れの命令。この時、指導手は動いてはいけない。 犬が座ると次へ。</p>
<p style="text-align: right;">B-004</p> 	<p><b>B-004</b></p> <p>脚側行進からプレートの左に脚側停座。 犬が座ったら待ての命令を出してもよい。 その後、指導手は左回りで犬の周りを回り犬の横に戻る。犬は姿勢を変えてはいけない。 横についたら、少し止まってから次へ。</p>
<p style="text-align: right;">B-005</p> 	<p><b>B-005</b></p> <p>座ってから伏せを言う。伏臥から待てをかけてもいい。 その後、指導手は左回りで犬の周りを回り、犬の横に戻る。 犬は姿勢を変えてはいけない。横についたら少し止まって座れの命令をかけ、次に。</p>
<p style="text-align: right;">B-006</p> 	<p><b>B-006</b></p> <p>右に曲がる。脚側行進でプレートの前を曲がる。</p>
<p style="text-align: right;">B-007</p> 	<p><b>B-007</b></p> <p>左に曲がる。脚側行進でプレートの前を曲がる。</p>
<p style="text-align: right;">B-008</p> 	<p><b>B-008</b></p> <p>回れ右。少しアーチをつけてもいい。 止まらず180度回って進む。</p>

<p>B-009</p> <p>回れ左</p> 	<p>B-009</p> <p>回れ左。少しアーチをつけてもいい。止まらず180度回って進む。</p>
<p>B-010</p> <p>反転ターン: 指導手は回れ左 犬は回れ右</p> 	<p>B-010</p> <p>ドイツターン</p>
<p>B-011</p>  <p>270° 右</p>	<p>B-011</p> <p>270度右回り。 プレートの前で。人は円をかかず、その場で回る。 次のプレートは左にある。</p>
<p>B-012</p>  <p>270° 左</p>	<p>B-012</p> <p>270度左回り。プレートの前で、人は円をかかず、その場で回る。 次のプレートは右にある。</p>
<p>B-013</p>  <p>360° 右</p>	<p>B-013</p> <p>360度右回り。プレートの左側を360度回る。その場で回る。 少し足が動くのはいい。次の方向は変わらない。</p>
<p>B-014</p> <p>正面停座</p> 	<p>B-014</p> <p>脚側行進中に正面停座させる。犬がその動きに入ったら、4歩まで下がってもよい。 まっすぐ下がる。横に動くのはダメ。止まってから再度動くのはダメ。 このプレートはもう1つのプレート（Z-O a ~ O d）とセットになる。</p>
<p>B-015</p>  <p>緩歩</p>	<p>B-015</p> <p>緩歩。プレートの左に来たらスピードを落とす。犬も人もはっきり速度の違いがわかるように歩き、次の指示があるまで続ける。最後のプレートになる時もある。</p>

 <p>B-016</p>	<p><b>B-016</b> 速歩。プレートの左からはっきりと、スピードを上げる。</p>
 <p>B-017</p>	<p><b>B-017</b> 常歩。自然な速さで。</p>
 <p>B-018</p>	<p><b>B-018</b> らせん、右回り。 犬が外側。コーン3つで、間が150cmの時計回り。一番遠いところから回る。プレートは、最初のコーンの近くでよく分かるように、プレートの左から。絵のとおり。最後のコーンを回った先はプレートが置いてある方向に行く。</p>
 <p>B-019</p>	<p><b>B-019</b> らせん、左回り。 犬が内側。コーン3つで、間が150cmの時計回り。一番遠いところから回る。プレートは、最初のコーンの近くでよく分かるように。プレートの左から。絵のとおり。最後のコーンを回った先は次のプレート方向。</p>
 <p>B-020</p>	<p><b>B-020</b> 片道スラローム。4本のコーン。間は150cm。プレートは最初のコーンの近く。入口はアジリティーと同じ、ペアーでプレートの右を通過してスラロームに入る。次はプレートがある方向へ。</p>
 <p>B-021</p>	<p><b>B-021</b> スラローム往復。入口はアジリティーと同じ。ペアーでプレートの右を通過してスラロームに入る。次はプレートの方向へ。</p>
 <p>B-022</p>	<p><b>B-022</b> 8の字。誘惑なし。 空のエサの容器を置く。プレートの右から始める。十字の真ん中は3回通る。入った方向と反対方向に出て行く。止まってはダメ。次のプレートで行く方向が変わる。</p>

<p style="text-align: right;">B-023</p> 	<p><b>B-023</b></p> <p>犬がハンドラーの周りを回る。犬は右回りして停座、その後次に。</p>
<p style="text-align: right;">B-024</p> 	<p><b>B-024</b></p> <p>プレートの横で停座、次に1歩前進して停座。 2回座る。</p>
<p style="text-align: right;">B-025</p> 	<p><b>B-025</b></p> <p>対面で1歩下がる。これにZ-O a ~ O dをつけて全部で1課目。 歩きながら犬を対面して座らせる。4歩まで下がっていい。理想は1歩で出来る。 ハンドラーは真っすぐ下がらなければならない。犬が対面まで来たら1回座る。 また1歩下がって対面で座る。2回座る。その後、Z-O a ~ O dのパネル通りに。</p>
<p style="text-align: right;">B-026</p> 	<p><b>B-026</b></p> <p>らせん。コーンを回る。コーン間の距離1メートル50センチ。 コーンは直線でおく。脚側で右回り。犬は外側。パネルは最初のコーンの近くにある。 チームが向かって来る方向に見えるように置く。パネルの左を通過して入り、くるくる回る。出るときは次のパネルがある方向に行く。</p>
<p style="text-align: right;">B-027</p> 	<p><b>B-027</b></p> <p>らせん左犬左回り。 さっきの反対回り。パネルの右側と通過して入る。</p>